

令和元年度決算にかかる主要な施策の 成果報告書並びに基金運用状況報告書

会 津 若 松 市

目 次

1	令和元年度主要な施策の成果報告書	1
	(1) 総括	3
	(2) 市税徴収実績	4
	(3) 一般会計	7
	第2款 総務費	8
	第3款 民生費	23
	第4款 衛生費	32
	第6款 農林水産業費	34
	第7款 商工費	39
	第8款 土木費	51
	第9款 消防費	56
	第10款 教育費	57
	(4) 「地方創生」粋事業	63
	(5) 特別会計	81
	会津若松市国民健康保険特別会計	82
	会津若松市湊町簡易水道事業特別会計	84
	会津若松市西田面簡易水道事業特別会計	85
	会津若松市観光施設事業特別会計	86
	会津若松市下水道事業特別会計	88
	会津若松市地方卸売市場事業特別会計	90
	会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計	91
	会津若松市農業集落排水事業特別会計	92
	会津若松市介護保険特別会計	93
	会津若松市個別生活排水事業特別会計	95
	会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計	96
	会津若松市後期高齢者医療特別会計	97
2	令和元年度基金運用状況報告書	99
	(1) 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金	100

令和元年度 主要な施策の成果報告書

令和元年度決算における主要な施策の成果について、地方自治法第233条第5項の規定により提出する。

令和2年9月3日

会津若松市長

室井照平

はじめに

会津若松市湊町簡易水道事業特別会計、会津若松市西田面簡易水道事業特別会計、会津若松市下水道事業特別会計、会津若松市農業集落排水事業特別会計及び会津若松市個別生活排水事業特別会計においては、令和2年4月1日からの簡易水道事業会計並びに下水道事業会計への移行に伴う打ち切り決算であることから、予算は執行されていますが、令和2年3月31日までに支払を完了できないものについては、決算書の決算額には含まれていません。このため、本書の作成にあたり上記の各特別会計においては、決算額と予算執行額（支出負担行為額）を列記することにより、主要な事務事業の成果として表しています。

総括

令和元年度の一般会計歳入歳出予算額は、当初47,742,000,000円でありました。

その後、7回の補正予算額1,621,305,000円を加え、さらに、平成30年度繰越明許費繰越額1,608,398,557円を加えた結果、最終予算額は50,971,703,557円となりました。

これに対して決算額は、歳入50,725,832,251円、歳出49,025,945,785円で、差し引き1,699,886,466円の剰余金が生じたものです。

歳入

予算現額50,971,703,557円に対し、決算額は50,725,832,251円で、予算現額と比較し、245,871,306円、0.5%の減収となりました。

その主な内訳は、市税（321,440,613円）、地方交付税（417,626,000円）などの増収と、国庫支出金（△320,148,230円）、県支出金（△137,552,606円）、市債（△186,000,000円）などの減収によるものです。

なお、減収分のうち、国庫支出金98,197,000円、県支出金79,758,000円、市債103,800,000円は、翌年度へ繰り越した事業の財源であり、令和2年度に事業が完了することにより収入されるものです。

歳出

予算現額50,971,703,557円に対し、決算額は49,025,945,785円で、執行率は96.2%（前年度94.2%）となり、継続費通次繰越額9,381円、繰越明許費繰越額422,663,000円、事故繰越し繰越額1,107,000円を除いた不用額は1,521,978,391円となりました。

主な不用額は、民生費485,148,951円、土木費284,814,166円、教育費291,768,921円で、効率的な執行に努めたところです。

以上、これらの予算執行を通して得られた本年度の行政施策の主な成果の概要は、次のとおりです。

市 税 徴

税 目	区 分	前年度決算額	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額
		(A)		(B)	(C)
		千円	千円	千円	千円
I 普通税		15,107,027	14,957,819	15,765,252	15,286,452
1 現年度分		14,994,001	14,854,319	15,341,153	15,188,800
(1) 市 民 税		6,465,727	6,355,338	6,539,976	6,486,606
(2) 固 定 資 産 税		7,281,959	7,261,137	7,469,199	7,373,573
(3) 軽 自 動 車 税		311,735	322,066	326,211	322,854
(4) 市 た ば こ 税		934,580	915,778	1,005,767	1,005,767
2 滞納繰越分		113,026	103,500	424,099	97,652
(1) 市 民 税		50,319	48,500	127,740	48,776
(2) 固 定 資 産 税		60,628	53,000	287,348	46,637
(3) 軽 自 動 車 税		2,079	2,000	9,011	2,239
II 目的税		109,390	108,181	106,109	100,989
(1) 入 湯 税		109,390	108,181	106,109	100,989
現年度分		108,948	108,180	105,966	100,846
滞納繰越分		442	1	143	143
合 計		15,216,417	15,066,000	15,871,361	15,387,441

収 実 績

(C)の 構成比	対前年度比 (C)／(A)	未 収 入 額 (B)－(C)	調定額(B)に対する収入済額(C)の割合(徴収率)				
			元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
%	%	千円	%	%	%	%	%
99.3	101.2	478,800	97.0	97.1	97.1	97.2	97.1
98.7	101.3	152,353	99.0	99.1	99.1	99.1	99.2
42.2	100.3	53,370	99.2	99.2	99.2	99.2	99.3
47.9	101.3	95,626	98.7	98.9	99.0	99.0	99.0
2.1	103.6	3,357	99.0	99.0	99.0	98.9	99.2
6.5	107.6	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0.6	86.4	326,447	23.0	26.4	25.0	24.9	26.0
0.3	96.9	78,964	38.2	38.5	39.7	36.5	40.2
0.3	76.9	240,711	16.2	21.0	17.9	20.0	20.0
0.0	107.7	6,772	24.8	24.6	28.7	22.3	24.6
0.7	92.3	5,120	95.2	99.9	99.6	99.8	100.0
0.7	92.3	5,120	95.2	99.9	99.6	99.8	100.0
0.7	92.6	5,120	95.2	99.9	99.6	99.8	100.0
0.0	32.4	0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
100.0	101.1	483,920	97.0	97.1	97.2	97.2	97.1

主要な施策の成果（一般会計）

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
姉妹都市・親善友好都市経費 (総務課)	2,751				2,751
説 明					
<p>○ 会津まつりへの交流都市招待事業 本市を代表する行事「会津まつり」に姉妹都市・親善交流都市等の首長・議長を招待して交流を促進し、相互の理解と友好を深めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年9月21日(土) ・参加都市 15都市(むつ市、鳴門市、伊那市、横須賀市、余市町、松阪市、日野町、京都市、日野市、日光市、米沢市、南阿蘇村、郡上市、三戸町、栗原市) <p>○ 鳴門市親善交流都市締結20周年記念事業 平成11年10月30日の親善交流都市盟約締結から20周年を迎えるに当たり、両市の友好交流の一層の促進と相互理解を深めるため、盟約締結継続にかかる調印式と記念祝賀会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年9月20日(金) ・会場 会津若松ワシントンホテル ・参加者 40名(鳴門市及び本市関係者) <p>○ 「会津ゆかりの地」紹介冊子作成事業 本市とゆかりのある地との縁や交流情報を市民に提供し、ゆかりの地への理解を深めるとともに、相互交流の一層の促進を図ることを目的に、会津ゆかりの地を紹介した冊子を作成して配布しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 52,000部 ・配布先 市内全世帯 ・内容 ゆかりの地と史跡マップ、ゆかりの活動団体の紹介 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市制120周年記念事業費 (総務課)	5,949				5,949
説 明					
<p>○ 市制120周年記念事業</p> <p>本市は明治32年4月1日に市制を施行して以来、平成31年4月1日で市制120周年を迎えました。この節目の年を市民の皆様とお祝いするとともに、市制施行の意義の再確認と市勢発展の歴史の振り返りを行い、もって将来に向けた市勢発展の契機とするため、会津若松市市制120周年記念事業を実施しました。</p> <p>① 市政功労者表彰</p> <p>行政、産業経済、教育、文化などの各分野において市政発展に貢献された方を対象として、11月23日の市制120周年記念式典において表彰式を行い、表彰状の授与と記念品（漆器盃）を贈呈しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労者数 882名（延べ945名） <p>② 市制施行120周年記念式</p> <p>市制施行120周年を祝うとともに、市勢のより一層の伸展を祈念して記念式を議場にて開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成31年4月1日（月） ・出席者 市議会議員27名、議員待遇者18名、市長等48名 計93名 <p>③ 市制施行120周年記念式典</p> <p>市民、市政功労者及び関係者等が集い、記念式典、市政功労者表彰式及び記念事業等を内容とする記念式典を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年11月23日（土） ・場所 會津風雅堂 ・出席者 1,214人（市政功労表彰者452名、来賓290名、一般公募154人、関係者等318名） <p>④ 市制施行120周年記念祝賀会</p> <p>市制施行120周年記念式典の来賓及び市政関係者等の出席により祝賀会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年11月23日（土） ・場所 会津若松ワシントンホテル ・出席者 136名（国・県議会議員、姉妹都市等自治体関係者、会津管内自治体関係者、各種団体の長、会津会関係者等及び市長・議長等） <p>⑤ 記念誌作成事業</p> <p>市制施行からこれまでの市勢発展の転換点となった出来事、時代等の変遷並びにタイムカプセル継承事業等を内容として記念誌を作成して配布しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 2,000部 ・配布先 市制施行120周年記念式典出席者、市政功労者及び教育機関等 <p>⑥ タイムカプセル継承事業</p> <p>会津若松市タイムカプセル継承事業推進会議を開催しながら、タイムカプセルの開封、記念事業及び再封入を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念事業 市長と中学生による未来のまちづくりシンポジウム、小学生作文コンクール、スクール議会・成人式との連携 					

⑦ 市主催事業の冠事業

庁内各課等において冠事業として実施するとともに、その他の周年事業と連携して実施しました。

- ・冠事業数 62事業
- ・周年事業 水道事業開始90周年、男女共同参画都市宣言20周年及び鳴門市親善交流都市提携20周年

⑧ 市制120周年記念事業補助金

市制120周年の振返り及び将来のまちづくり活動を促進するため、市内の民間団体による事業を公募して選考を行い、補助金を交付しました。

- ・補助金交付件数 6件

⑨ 市民等による協賛事業

各種団体等において協賛事業として実施しました。

- ・協賛事業件数 7件

⑩ 広報・機運醸成

記念シンボルマークや本庁舎正面看板掲示等による事前周知を図りながら機運醸成を図りました。また、ホームページ、市政だより、エフエム会津による広報を行いました。

- ・記念シンボルマーク 使用承認件数19件
- ・ホームページ ページビュー数3,915件(平成31年4月1日から令和2年3月31日)
- ・市政だより 4回(2月号、4月号、10月号及び11月号)
- ・エフエム会津 3回(4月、8月及び10月)
- ・本庁舎看板等 本庁舎正面玄関上看板、本庁舎入口掲示看板

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
未来人財育成事業費（新生日本・再生故郷実行委員会負担金） (企画調整課)	5,100			5,100	
説 明					
<p>○ 新生日本・再生故郷実行委員会では、「新生日本・再生故郷」をテーマに、地方から日本全体の新たな社会構築への挑戦を目指し、地域活力の再生に向けて、次世代を担う“人財”の育成事業を中心とした取組を実施しました。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. グローバル人材育成事業</p> <p>野口英世博士とアフリカ諸国との深いつながりを縁とし、会津地方の高校生に駐日アフリカ各国大使館の訪問等を通して、異文化に触れる機会を提供し、子ども達の国際社会への興味関心、異文化理解を深めることで、グローバルな視点を持った人材の育成を行いました。</p> <p>○参加者数 会津地方高校生 32名（うち市内高校生27名）</p> <p>(1) JICA二本松訪問（令和元年6月22日）（参加者数29名） 主な内容：JICA二本松の取組学習、施設見学、及び青年海外協力隊員との意見交換</p> <p>(2) ワークショップ【全4回】（令和元年7月～9月）（参加者数21～27名） テーマ：「グローバル人材とは何か」を考える。</p> <p>(3) 英語カフェ【全3回】（令和元年7月）（参加者数23～27名） 主な内容：英会話講習のほか、サマーキャンプに向け、英語で会津の歴史・食文化などの紹介資料を作成</p> <p>(4) サマーキャンプ（令和元年7月31日～8月1日）（1泊2日）（参加者数26名） 主な内容：①駐日アフリカ各国大使館における英語での会津の歴史や食文化の紹介 ②青年海外協力協会における「SDGs」をテーマとしたワークショップ ③ドイツ企業の日本法人での、社員との意見交換や社内見学</p> <p>(5) 野口英世アフリカ賞受賞者との意見交換会（令和元年9月1日）（参加者数14名）</p> <p>(6) 成果報告会（令和元年10月6日）（参加者数25名） 主な内容：参加高校生による一連のプロジェクト成果の発表</p> <p>2. 未来人財育成塾事業</p> <p>次世代を担う子どもたちが、社会の第一線で活躍する講師陣（技術、医療、スポーツ、ジャーナリズム等）から、これからの社会を生きる実践的な力を学ぶとともに、同世代との集団生活や活動を通し「自立」と「自律」の心を培い、将来の自分の生き方を描けるような機会を提供することを目的に、人材育成事業を実施しました。</p> <p>○名 称 あいづ未来人財育成塾2019</p> <p>○開催期間 令和元年8月18日～21日（3泊4日）</p> <p>○参加者数 中学生 36名（うち市内中学生17名）</p> <p>○カリキュラム</p> <p>(1) 講義 主な内容：ジャーナリズムやスポーツ分野等の6名の講師による講義を受講</p> <p>(2) グループワーク 主な内容：講義の振り返りと「自分の将来の生き方を考える」グループワーク</p> <p>(3) 課外活動 主な内容：「はら笑楽交」の地域資源を活かした体験型の課外活動を実施</p> <p>(4) 成果発表会 主な内容：4日間で学んだこと、将来やりたいことやそのために努力することなどを発表</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
企画諸費（「合同学校説明会」企画・運営業務委託料） (企画調整課)	1,364			1,364	

説 明

- 高等学校卒業後の進学先の選択肢となる会津地域の大学、専門学校を一堂に集め、各校の特徴や学習内容、会津地域での進学や就職のメリット等について体験的に学ぶことができる合同学校説明会・進路相談会「キャリア・フェス」を開催し、地域内における進学促進を通して、卒業後の地元雇用の促進を図りました。

[開催概要]

開催日時：令和2年2月2日（日） 13：00～18：00

開催場所：生涯学習総合センター（會津稽古堂） 多目的ホール・市民ギャラリー

出展校・体験内容：下記のとおり

No.	出展校	内 容
1	会津准看護高等専修学校	パンフレット配布
2	竹田看護専門学校	学校説明、採血体験、心臓マッサージ体験
3	仁愛看護福祉専門学校	学校説明、点滴管理体験
4	会津服飾専門学校	学校説明、フラワーアクセサリー作り体験
5	シークドレスメーカー専門学校	学校説明、ハンドメイド作品作り体験
6	AIZUビューティーカレッジ 会津美容高等専修学校	学校説明、ネイル・メイク体験など
7	みとみライセンスアカデミー	学校説明
8	会津大学短期大学部	学校説明
9	県立テクノアカデミー会津	学校説明、旅行プラン企画体験、ドローン操縦体験、エンジン分解・組立体験など
10	会津大学	学校説明、プログラミング・VR体験など

その他：

- ・相談コーナー キャリアコンサルタントによる、進路等の個別相談対応
- ・自己分析コーナー パソコンによる性格・適正診断サービスの提供

[開催成果]

目標指標	目標値	実績
入場者数	150名以上	519名
		(内訳) 高校生48名、中学生52名、小学生166名、大人253名
入場者の満足度	80%以上	95%

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
男女共同参画推進事業費（「男女共同参画都市宣言20周年」記念事業） （企画調整課 協働・男女参画室）	248				248

説 明

○ 平成12年に県内初の「男女共同参画都市宣言」を行ってから20周年を迎えることから、市民団体等との協働による記念事業を実施し、男女共同参画の意識づくりや理解促進に取り組みました。

[第一部：記念式典・表彰式]

(1) 記念式典

男女共同参画都市宣言20周年記念式典を挙行し、関係団体や市民等の参加を得ながら、市の取組の振り返りや都市宣言文の唱和などを行いました。

- ・日 時：令和2年2月1日（土） 午後1時より
- ・会 場：會津稽古堂（多目的ホール・市民ギャラリー）
- ・来場者数：約180人

(2) 表彰式（毎年度別途実施）

1. 令和元年度「男女平等に関する作文コンクール」受賞者表彰
 - ・小学生低学年・高学年、中学生の優秀賞7名、最優秀賞3名
 - ※最優秀賞受賞者による作文朗読
2. 令和元年度男女共同参画推進事業者表彰
 - ・受賞者：有限会社ワシオ商会 株式会社三義漆器店 小野屋グループ

[第二部：記念事業]

(1) 講演「多様な生き方があっても面白い！ ～私の社会人人生 働く・休む・学ぶ、そして働く～」

講 師：福山 知子 氏
カルビー株式会社 執行役員
素材事業本部本部長兼コーポレートコミュニケーション本部本部長

(2) トークセッション「“自分らしく”を実現するために」

出演者：コーディネーター 鈴木 秀子 氏
会津大学短期大学部食物栄養学科教授、
市男女共同参画審議会会長

スピーカー 福山 知子 氏

古川 綾 氏
合同会社ばんだいファーム 代表社員、磐梯町議会議員

曾根 佳弘 氏
株式会社 三義漆器店 代表取締役
(推進事業者表彰受賞者)

[ギャラリーでの各種展示]

市民活動団体等による啓発パネルやポスター等の展示、過去の男女共同参画推進事業者表彰受賞企業の取組紹介パネルや作文コンクール作品集等の展示

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市民協働推進事業費（行政提案型協働モデル事業委託料） (企画調整課 協働・男女参画室)	1,305				1,305
説 明					
<p>○ 市民との協働による地域課題の解決と、より幅広い協働の実践につながるモデル事業を創出することを目的に、平成26年4月に策定した「会津若松市市民協働推進指針」の実践の一環として、市民公益活動団体との協働事業（3事業）に取り組みました。 いずれの事業も打合せを丁寧に積み重ね、相互の信頼関係を構築しつつ、試行錯誤しながら取組を進め、効果と課題を確認することができました。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. 今和泉たまごベンチ事業</p> <p>高齢者世帯の増加や閉じこもり、子育て世代の交流減少等の地域課題の解消のため、地域住民の交流の場となる「居場所」をつくり、地域の子ども（他人の孫＝「たまご」）をみんなで支える事業に取り組みました。 「居場所」の整備や交流事業の開催などにより、これまで接点がありませんだった高齢者や子育て世代、子どもがふれあう機会が増え、互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながるきっかけになりました。</p> <p>(1) 実施団体 今和泉町内会（担当課：地域福祉課） (2) 事業費 441千円 (3) 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な交流の場づくり ・町内における交流活動の支援 ・公園の整備（清掃・花壇整備、遊具の修理など） <p>2. 公園の無限大の可能性 ～地域貢献の場～</p> <p>大町中央公園を憩いや安らぎ、賑わいのある場所とするため、公園環境の改善や施設のリニューアル、イベント等を開催する事業に取り組みました。 清掃や掲示板の設置、公園内のあずまやのリノベーションのほか、長期間にわたりイベントを開催することで、大町中央公園を子どもと子育て世代、高齢者や近隣住民が立ち寄れる居心地が良く賑わいのある場所とすることができました。</p> <p>(1) 実施団体 NPO法人 Lotus（担当課：花と緑の課(現まちづくり整備課)） (2) 事業費 500千円 (3) 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の清掃やセンサー式ライト・掲示板の設置による環境改善 ・公園内あずまやのリノベーション及び管理 ・TSU-NA-GU市（イベント開催、体験・飲食ブース開設）を開催（25日間） <p>3. 認知症サポーターステップアップ講座</p> <p>認知症の人やその家族の役に立つ活動をしたいという思いを持つ認知症サポーターに、より積極的に活動していただけるよう、講座等の開催や実践活動を支援する事業に取り組みました。 ステップアップ講座や認知症講演会の開催、認知症カフェでの実践活動の支援を通して、サポーターの認知症についての理解の深化とともに、ボランティアへの登録や地域サロンの開設などの積極的な活動につなげることができました。</p> <p>(1) 実施団体 認知症を考える会 あいづの種（担当課：高齢福祉課） (2) 事業費 364千円 (3) 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・認知症講演会の開催 ・認知症カフェにおける実践活動支援 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域振興費（集落支援員にかかる経費） （地域づくり課）	3,374				3,374
説 明					
<p>○ 地域住民が主体となり地域課題の解決に取り組んでいる「みんなと湊まちづくりネットワーク」の事務局機能を強化するため、国の「過疎地域等における集落対策の推進要綱」に基づき、地域の実情に詳しい身近な人材を集落支援員として1名配置するとともに、同ネットワークによる集落支援員を活用した地域活動を支援するための経費に対し補助を行いました。</p> <p>1. 集落支援員の主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湊地区の地域運営組織「みんなと湊まちづくりネットワーク」の事務局用務 ・地域内交通「みなとバス」の運行支援 ・中山間地域生活支援システム「みなとチャンネル」のサポート対応 <p>2. 集落支援員を活用した地域活動事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額：1,000千円 ・対象経費：地域づくりビジョンに掲げる事業に要する経費 <p>3. 主な成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月 「みんなと湊まちづくりネットワーク」に地区社会福祉協議会機能追加 ・令和2年3月 「みんなと湊まちづくりネットワーク」のNPO法人化 					
地域振興費（地域おこし協力隊起業支援補助金） （地域づくり課）	1,000				1,000
説 明					
<p>○ 地域おこし協力隊員の本市への定着を図るため、国の「地域おこし協力隊推進要綱」に基づき、平成30年度末で任期が満了した地域おこし協力隊員の市内での起業に要する経費に対し補助を行いました。</p> <p>○ 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数：1件 ・補助金額：1,000千円 ・対象経費：法人設立登記費、備品購入費、自社ホームページ作成委託費 等 <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業した会社名：株式会社38works ・設立日：令和元年11月29日 ・起業内容：織物業、染色業、雑貨品等の製造販売 等 <p>※地域おこし協力隊</p> <p>都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等、地域おこし活動などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ICTを活用した中山間地域づくり事業費 (地域づくり課)	3,764				3,764
説 明					
<p>○ 中山間地域のコミュニティづくりを推進するため、地方創生推進交付金を活用し、湊地域をモデル地区に構築した「中山間地域生活支援システム（みなとチャンネル）」及び「地域内交通（みなとバス）」の継続的な運用を行いました。</p> <p>1. 中山間地域生活支援システム運用保守業務</p> <p>(1) 事業概要 中山間地域の活力向上を目指し構築した「中山間地域生活支援システム（みなとチャンネル）」の運用保守を行いました。</p> <p>(2) 事業成果 ・ 中山間地域生活支援システムの利用世帯数 258世帯（目標値：260世帯） ※令和2年3月31日現在</p> <p>2. 中山間地域内交通自主運行事業補助金</p> <p>(1) 事業概要 「みんなと湊まちづくりネットワーク」が自主事業として運行を行った地域内交通（みなとバス）について、運行に必要な経費に対する補助を行いました。</p> <p>(2) 事業成果 ・ 運行日数 194日（週4日運行、予約に応じ自宅から湊地区内の目的地まで運行） ・ 延べ利用者数 1,614人、1日あたり8.3人</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
庁舎整備事業費 (企画調整課 庁舎整備室)	7,369			6,270	1,099
説 明					
<p>○ 「庁舎整備基本計画（以下「基本計画」といいます。）」を策定し、市民の皆様と意見交換を行うとともに、あらためていただいた意見等を踏まえて、基本計画の内容を整理しました。また、設計者選定の要項等を作成するなど、設計発注に向けた準備を行いました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1. 基本計画の策定と市民の皆様との意見交換</p> <p>平成31年4月に、平成29年度に策定した「本庁舎旧館保存活用計画」及び「庁舎整備行動計画」を踏まえ、庁舎整備に関する基本的な事項を取りまとめた基本計画を策定しました。また、5月から6月にかけて、基本計画に関して市民の皆様と意見交換を行い、いただいた意見や議会の決議への対応を図るため、基本計画の内容の整理を行いました。</p> <p>(1) 意見交換会での主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎整備事業が本市財政に与える影響 ・ 駐車場の位置と本庁舎までの歩行の安全確保 <p>(2) 対 応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見等を踏まえ、特に「事業費」や「駐車場のあり方」を中心に再検討し、基本計画の内容を整理しました。 <p>【庁舎整備基本計画の精査と整備に向けた方向性の整理（令和元年11月）】</p> <p><主な内容> ・ 本庁舎敷地への庁舎機能の配置に加えて、引き続き、栄町第一庁舎を活用することにより、事業費を抑制することとしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 謹教小学校跡地の一部を主要な駐車場として活用することにより、本庁舎への通行の利便性の向上と安全の確保を図ることとしました。 ・ 庁舎建設の発注方法として、「設計段階から施工予定者が関与する方式（※E C I方式）」を採用することとしました。 ※E C I・・・Early Contractor Involvementの略 <p>2. 庁舎整備コンストラクションマネジメント業務</p> <p>計画、設計及び施工の各段階において、スケジュール・品質・コストのトータル的なマネジメントを行いながら、一貫した庁舎整備事業を推進するため、令和元年度から令和7年度までのコンストラクションマネジメントの業務を委託しました。</p> <p>(1) 令和元年度の主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「庁舎整備基本計画」の説明等に関する支援（資料作成など） ・ 設計者の選定に関する支援（募集要項及び仕様書等の作成など） <p>(2) 委託先</p> <p>株式会社 三菱地所設計 東北支店</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
北会津地域活性化事業費（市民協働地域づくり委員会活動事業負担金） （北会津支所まちづくり推進課）	1,000				1,000
説 明					
<p>○ 北会津地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民一人ひとりが地域を理解し、身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>・地域づくり委員会会員数 47名（令和2年3月31日現在）</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 「役員会」（7回）開催 「委員会」（5回）開催 「北会津公共交通会議」（6回）開催 意見交換会の開催（北会津地域連携会議との合同） 地域づくりフェスの開催（河東・湊地区との合同） まちづくり推進ニュース（5回発行）への記事掲載 公共施設マネジメントのワークショップの開催など ・ 実践事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 委員会発意による実践活動の実施（2件） <ul style="list-style-type: none"> 「みどり（花）香るまちづくり推進事業」 「支所3階利活用実証事業」 ・ 地域内交通「北会津ふれあい号」の運営・利用促進（3件） <ul style="list-style-type: none"> 「利用案内チラシの配布」 「乗り方教室開催」 「地域内イベント（敬老会、文化祭）における利用促進活動」 ・ 地域づくり活動支援事業（住民提案型公募事業）の実施（3件） <ul style="list-style-type: none"> 「北会津で一年分の手前味噌を作ろう」 「みんなでダレデモダンス」 「めごキッズふれあいファーム」 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
北会津地域内交通運営支援事業費 (北会津支所まちづくり推進課)	3,827				3,827

説 明

- 北会津地域の公共交通空白地域等における医療機関や商業施設、広域路線バスへの乗り継ぎ拠点等までの移動手段である地域内交通への運営支援により、地域間の交流促進や日常生活の利便性の向上等に努めました。

名称	北会津地域内交通「北会津ふれあい号」
運営主体	北会津地域づくり委員会「公共交通会議」
運行事業者	会津通商株式会社（葵タクシー）
運行開始	平成30年度
運行日	平成31年4月1日～令和2年3月31日 毎週月曜日～土曜日 ※年末年始、お盆期間等を除く
運行実績（日数）	303日
〃（便数）	1,426便
〃（人数）	2,310人
利用区間	北会津各町内会～目的地（商業施設・医療機関・公共施設等）
乗降場所	48地区（53箇所）
目的地	11施設 地域内目的地：6施設（北会津保健センター、JA会津よつば北会津、北会津支所、北会津公民館、会津西病院、はせがわ整形外科） 地域外目的地：5施設（COOP BESTAにいでら店、アピタ会津若松店、ヨークベニマル西若松店、ヨークベニマル城西町店、西若松駅東口）
運賃	地域内目的地 片道300円 地域外目的地 片道500円 ※未就学児は無料、小学生はいずれも半額
運行形態	1日6便（往路便と祝日の往路・復路便は、前日までの予約制）
使用車両	ワゴン車（10人乗りタイプ）

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
河東地域活性化事業費（市民協働地域づくり委員会活動事業負担金） （河東支所まちづくり推進課）	1,000				1,000
説 明					
<p>○ 河東地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」への負担金を交付し、住民自らが行う身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり委員会会員数 118人（令和2年3月31日現在） <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 運営委員会の開催（4回） 各部会の開催（地域環境（2回）・生活福祉（1回）・防犯防災（1回）・交通環境（6回）） 活動報告会の開催（北会津地域づくり委員会等との合同） 地域づくり委員会ニュースの発行（3回） ・ 実践事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 地域環境部会（6件） <ul style="list-style-type: none"> 「広田駅前環境美化運動」 「地域飲食店等のガイドブック作成」 「地域づくり委員会ニュース発行」 「河東地区文化産業祭への出展」 「地域ふれあいピアノコンサート開催」 「地域内公共施設の有効活用に向けた検討」 生活福祉部会（3件） <ul style="list-style-type: none"> 「認知症講演会への参加」 「健康講座（減塩）の開催」 「会津若松市移住縁結びツアー参加者募集の広報活動」 防犯防災部会（3件） <ul style="list-style-type: none"> 「市通学路交通安全プログラムへの参加」 「地域安全鼓笛隊パレードの開催」 「交通安全看板の改修」 交通環境部会（4件） <ul style="list-style-type: none"> 「河東地域内交通みなづる号の利用促進に向けた検討・協議」 「 // の広報活動」 「 // のお試し運行の実施」 「 // 車内及び高齢者宅訪問等によるアンケートの実施」 ・ 地域づくり活動支援事業（住民提案型公募事業）の実施（4件） <ul style="list-style-type: none"> 「防犯活動等の円滑化促進事業」 「六丁大型看板改修事業」 「福祉ふれあい芸能発表会」 「かわひがし美味しい店ガイドブック作製事業」 ・ 「河東地域づくりビジョン」の策定に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> 河東地域づくりビジョン策定委員会の開催（3回） 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
河東地域内交通運営支援事業費 (河東支所まちづくり推進課)	1,694			1,561	133

説 明

- 河東地域の公共交通空白地域等における医療機関や商業施設、広域路線バスへの乗り継ぎ拠点等までの移動手段である地域内交通への運営支援により、地域間の交流促進や日常生活の利便性の向上等に努めました。

名称	河東地域内交通「みなづる号」
運営主体	河東地域づくり委員会「交通環境部会」
運行事業者	合資会社 広田タクシー
運行開始	平成30年度
運行日	平成31年4月1日～令和2年3月31日 月・水・金の週3日 ※祝日の場合も運行
運行実績 (日数)	123日
〃 (便数)	318便
〃 (人数)	458人
利用区間	待合場所～目的地 (商業施設・医療機関・公共施設等) 目的地～目的地
乗降場所	河東地区内36箇所
目的地	7施設 (広田駅、広田郵便局、河東公民館、河東支所、 リオン・ドール河東店、いなにわ医院、会津医療センター)
運賃	片道500円 (待合場所～目的地間) 片道300円 (目的地～目的地間) ※未就学児は無料、小学生はいずれも半額
運行形態	1日7便 (前日までの完全電話予約制)
使用車両	ワゴン車(10人乗りタイプ)

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																
防犯灯設置等事業費 (危機管理課)	29,951				29,951																
説 明																					
○ 夜間における地域の防犯や通行の安全を確保し、安全で安心なまちづくりを推進するために、防犯灯を設置又は維持管理する町内会等に対し、補助金を交付しました。 また、町内会として設置できない通学路等の防犯上危険な箇所へ公設防犯灯の設置を行いました。																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th style="width: 15%;">申請件数</th> <th style="width: 15%;">設置灯数</th> <th style="width: 30%;">補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯設置補助金</td> <td style="text-align: center;">193</td> <td style="text-align: center;">1,226</td> <td style="text-align: right;">16,916千円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料補助金</td> <td style="text-align: center;">472</td> <td style="text-align: center;">11,408</td> <td style="text-align: right;">11,406千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">665</td> <td style="text-align: center;">12,634</td> <td style="text-align: right;">28,322千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	申請件数	設置灯数	補助金額	防犯灯設置補助金	193	1,226	16,916千円	防犯灯電気料補助金	472	11,408	11,406千円	合 計	665	12,634	28,322千円
内 容	申請件数	設置灯数	補助金額																		
防犯灯設置補助金	193	1,226	16,916千円																		
防犯灯電気料補助金	472	11,408	11,406千円																		
合 計	665	12,634	28,322千円																		
※ 申請件数合計は重複あり																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">設置灯数</th> <th style="width: 30%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公設防犯灯設置工事</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: right;">190千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	設置灯数	金 額	公設防犯灯設置工事	4	190千円										
内 容	設置灯数	金 額																			
公設防犯灯設置工事	4	190千円																			
空家対策に関する経費（空家等改修支援事業補助金） (危機管理課)	500				500																
説 明																					
○ 空家を活用して、地域の活性化に資する事業や移住しようとする者を対象に、必要となる空家の改修工事の費用の一部を補助しました。																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th style="width: 15%;">申請件数</th> <th style="width: 15%;">交付件数</th> <th style="width: 30%;">補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空家等改修支援事業補助金</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	申請件数	交付件数	補助金額	空家等改修支援事業補助金	1	1	500千円	合 計	1	1	500千円				
内 容	申請件数	交付件数	補助金額																		
空家等改修支援事業補助金	1	1	500千円																		
合 計	1	1	500千円																		

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域福祉計画推進事業費 (地域福祉課)	957			6	951
説 明					
<p>○ 地域福祉計画（平成28年度～令和2年度）の基本理念である「誰もが安心して暮らせるよう地域で支え合うあいづわかまつ」の実現に向け計画の推進及び次期地域福祉計画策定に向けた取組を行いました。</p> <p>1. 地域福祉の啓発 地域福祉の啓発及び地域福祉活動のきっかけづくりを目的に「あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム」を開催しました。 第4回あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム ・日 時 令和2年2月6日 ・テーマ ひきこもり支援と就職困難者の社会復帰に向けて ～ 地域として取り組むべき支援の在り方について ～ ・参加者 180名 ・会 場 會津稽古堂</p> <p>2. 会津若松市地域福祉計画等推進会議の開催 次期地域福祉計画の策定に向けた「地域福祉を考えるアンケート」の実施に関し協議を行い、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の取組について評価検証を実施しました。 ・委 員 公立大学法人会津大学、会津若松地区保護司会、会津若松市区長会、会津若松市民生委員協議会、市民公募等 27名 ・開催日 令和元年11月5日</p> <p>3. 次期地域福祉計画策定に向けた取組 次期地域福祉計画の策定に向けて、市民の地域福祉に関する意識の把握を目的に「地域福祉を考えるアンケート」を実施しました。 ・対 象 20歳以上の市民2,000名 ・回 答 622名（回答率31.1%） ・主な内容 地域福祉活動への参加状況、優先的に解決しなければならない地域生活課題、充実を期待する福祉施策等</p>					

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
プレミアム付商品券事業費 (地域福祉課)	123,040	123,034		4	2

説 明

○ 消費税率の引上げが家計に与える影響を緩和するとともに、地域の消費を下支えするためにプレミアム付商品券を発行しました。

1. 購入対象者

- (1) 平成31年1月1日において住民基本台帳に記録されている方で、平成31年度の住民税（均等割）が課税されていない方（住民税が課税されている方に扶養されている方や生活保護の受給者等は除きます。）
- (2) 平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子が属する世帯の世帯主

2. 販売額

購入対象者1人につき総額25千円分の商品券を20千円で販売

3. 販売枚数

452,560枚

4. 換金枚数

450,480枚

5. 換金額

225,240千円（うちプレミアム分45,048千円）

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
障がい者総合支援給付費 (障がい者支援課・こども家庭課)	1,994,786	1,524,518			470,268

説 明

○ 障がいの種類、程度にかかわらず、地域で自立した生活が送れるように、様々な福祉サービスを提供しました。

事業名	内 容	件 数	金 額
障がい福祉サービス費等	居宅介護、生活介護、施設入所支援等の介護給付費や自立訓練、就労移行支援等の訓練等給付費の支給	19,780件	1,725,037千円
計画相談支援給付費等	障がい福祉サービスの利用調整や利用計画の作成費の支給	3,779件	58,068千円
療養介護医療費	長期入院による医療的ケア及び常時介護のための療養介護医療費の支給	132件	9,691千円
高額障がい福祉サービス等給付費等	複数の福祉サービスを併用し、一月の自己負担合計額が基準額を超えた際や、介護保険に移行した高齢障がい者の負担軽減のための給付費の支給	94件	966千円
補装具費	失われた身体機能を補完又は代替するための補装具費の支給	233件	22,893千円
自立支援医療費 (育成医療)	身体障がい児又は疾病により障がいが残ると認められる児童の障がいの軽減除去を図る医療費(育成医療)の支給	3件	301千円
自立支援医療費 (更生医療)	身体障がい者の障がいの軽減除去を図る医療費(更生医療)の支給	160件	142,164千円
合 計		24,181件	1,959,120千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域生活支援事業費 (障がい者支援課・こども家庭課)	128,494	49,053		1,713	77,728

説 明

- 障がい者や障がい児が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、様々な事業を実施し、障がい者等の福祉の増進に努めました。

事業名	内 容	件 数	事業費
相談支援事業	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用等を支援	10,808回	32,182千円
成年後見制度利用支援事業	障がい者等の権利擁護のため、成年後見制度の利用を支援	18件	2,765千円
理解促進研修・啓発事業	障がい理解を深めるため、啓発紙の作成・配布や講演会を開催	2件	623千円
意思疎通支援事業	手話通訳者又は要約筆記者等を派遣し、聴覚障がい者等のコミュニケーションを支援	226回	1,153千円
日常生活用具費助成事業	障がい者等の日常生活の便宜を図るため、自立支援用具等の購入に要する費用の一部を助成	2,644件	27,475千円
ガイドヘルパー派遣事業	障がい者等の日常生活、社会参加等のための外出時における移動を支援	4,623時間	11,274千円
地域活動支援センター事業	障がい者等に対し、通所による創作活動や生産活動の場を提供	3,873回	10,079千円
訪問入浴サービス事業	入浴が困難な在宅の障がい者等に対し、家庭訪問により居宅での入浴を支援	494回	6,219千円
タイムケア事業	障がい者等に日中活動の場を提供し、障がい者等の家族の就労、休息の確保を支援	4,468回	14,835千円
余暇活動支援事業	障がい者等が集う拠点を設け、イベント等を通じて社会活動参加を促進	4,393人 (のべ参加者数)	4,750千円
ワークシェアリング事業	就労を目指す障がい者に、市役所の一部の業務について作業をしてもらい、社会参加及び就労意欲の向上を図り、就労に向けた訓練を実施	360人 (のべ参加者数)	916千円
地域生活支援拠点等の整備	福祉施設からの地域生活移行や親元からの自立、親亡き後の生活を見据えた支援を行うための拠点等を整備	4箇所	9,659千円
合 計			121,930千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源														
後期高齢者医療事業費 (国保年金課)	1,659,372	233,740		59,628	1,366,004														
説 明																			
<p>○ 後期高齢者医療制度の健全な運営に資するため、福島県後期高齢者医療広域連合に対し、事務費や市の法定負担金となる療養給付費等負担金を支出しました。 また、本市の後期高齢者医療特別会計へ事務費や保険基盤安定負担金分として繰出金を支出するとともに、健康診査を実施し後期高齢者の健康増進と医療費の適正化に努めました。</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">事業名</th> <th style="width: 40%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査事業委託料</td> <td style="text-align: right;">49,680 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療広域連合市町村負担金</td> <td style="text-align: right;">49,895 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療広域連合保健事業負担金</td> <td style="text-align: right;">14,223 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療療養給付費等負担金</td> <td style="text-align: right;">1,178,230 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療特別会計繰出金</td> <td style="text-align: right;">367,344 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,659,372 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額	健康診査事業委託料	49,680 千円	後期高齢者医療広域連合市町村負担金	49,895 千円	後期高齢者医療広域連合保健事業負担金	14,223 千円	後期高齢者医療療養給付費等負担金	1,178,230 千円	後期高齢者医療特別会計繰出金	367,344 千円	合 計	1,659,372 千円
事業名	金額																		
健康診査事業委託料	49,680 千円																		
後期高齢者医療広域連合市町村負担金	49,895 千円																		
後期高齢者医療広域連合保健事業負担金	14,223 千円																		
後期高齢者医療療養給付費等負担金	1,178,230 千円																		
後期高齢者医療特別会計繰出金	367,344 千円																		
合 計	1,659,372 千円																		
子ども医療費 (こども家庭課)	556,459	294,786			261,673														
説 明																			
<p>○ 子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し、子どもの保健の向上に寄与することを目的とし、子どもの医療費の一部を保護者に助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成対象者 外来・入院・調剤：0歳～18歳に到達した日以後における最初の3月31日までの者 ・ 助成対象人数 18,683人 ・ 助成件数 261,413件 ・ 助成額 541,186,535円 																			

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ファミリー・サポート・センター事業費 (こども家庭課)	8,861	5,887			2,974

説 明

- 安心して子育てができる環境を整えるため、子育てを援助したい人（サポート会員）と子育ての援助を受けたい人（お願い会員）をマッチングする、ファミリー・サポート・センター事業を、NPO 法人ファミリー・サポート・あいづへの委託により、実施しました。
- 就労形態や就労時間などの多様化により、保育施設では対応できない子育てを、一時的または補助的に手助けすることで、仕事と家庭の両立の支援を行うとともに、緊急時の対応など、専業主婦家庭を含めたすべての家庭への支援を行うことで、子育ての負担感や不安感が軽減され、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを行いました。
- また、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図るため、以下のいずれかの要件に該当する世帯を対象に利用料の一部を助成しました。

(ひとり親家庭等支援対象世帯)

- ・生活保護受給世帯
- ・住民税非課税世帯
- ・児童扶養手当受給世帯
- ・ダブルケア世帯

【活動実績】

・サポート活動総件数

内容	件数
基本事業	3,139
病児・病後児緊急対応強化事業	5
合計	3,144

・うち、ひとり親家庭等支援件数

内容	件数
サポート料金の一部を援助	707
早朝、夜間、宿泊、休日受け入れ等に柔軟に対応	1,090
合計	1,797

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども未来基金事業費 (こども家庭課)	2,886			2,855	31
説 明					
<p>○ 地域における子どもと子育てへの支援の充実及び拡大を図るため、「子ども未来基金」を活用して、子ども・子育て支援に寄与する活動を自主的に実施する団体へ助成金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの健やかな成長を支える活動 (2) 支援を要する子ども及びその家庭を支える活動 (3) 親の子育て力の発揮を支える活動 (4) 地域の子育て力の向上に資する活動 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が子どもと子育ての支援の充実に寄与すると認める活動 ・助成対象団体 <p>市内に住所がある、市内に主たる事務所がある、子育て支援の活動実績がある、のいずれかに該当し、構成員が2人以上の団体</p> ・助成対象期間 <p>平成31年4月から令和2年3月</p> ・交付額 <p>【通年】1事業あたり500,000円(1,000円未満切捨て)を上限に交付 【上期・下期】1事業あたり250,000円(1,000円未満切捨て)を上限に交付</p> ・交付実績 <p>【通年】6団体へ交付 【上期】3団体へ交付 【下期】1団体へ交付</p> 					
未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業費 (こども家庭課)	2,290	2,290			
説 明					
<p>○ 令和元年10月からの消費税引上げに伴い、子どもの貧困に対応するため、臨時かつ特例の措置として、児童扶養手当の受給者のうち、税法上の寡婦控除の適用を受けない未婚のひとり親世帯を対象として給付金を支給しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給額 対象者1人あたり17,500円 ・支給人数 83人 ・総支給額 1,452,500円 					

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども・子育て支援事業費（安心こども基金特別対策事業補助金・認定こども園施設整備交付金・保育所等整備交付金） (こども保育課)	348,795	262,063			86,732

説 明

○ 国の子育て安心プランの実施方針に基づき、幼保連携型認定こども園へ移行するための施設整備及び保育所移転に伴う施設整備を行う特定教育・保育施設に対し交付金を交付し、増加する保育ニーズへ対応するために保育枠の拡大及び良好な保育環境の整備を図りました。

■ 交付金対象施設：認定こども園 若松第三幼稚園

事業年度		交付金名称	交付金額
2ヶ年事業 (平成30年度～令和元年度)	2年目分	保育所等整備交付金	96,600千円
		認定こども園施設整備交付金	98,190千円

※幼稚園型認定こども園から幼保連携型認定こども園への移行のための施設整備

施設種別	整備前	整備後	増減
	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	
1号定員	90名	55名	△35名
2号定員	30名	35名	5名
3号定員	0名	10名	10名
合計	120名	100名	△20名

※1号定員：教育枠、2号定員及び3号定員：保育枠

■ 交付金対象施設：若松第二保育園

事業年度		交付金名称	交付金額
2ヶ年事業 (平成30年度～令和元年度)	2年目分	保育所等整備交付金	117,708千円

※移転のための施設整備
※定員変更無

■ 交付金対象施設：ザベリオ学園こども園

事業年度	交付金名称	交付金額
単年度事業（令和元年度）	安心こども基金特別対策事業補助金	36,297千円

※幼稚園型認定こども園から幼保連携型認定こども園への移行のための施設整備

施設種別	整備前	整備後	増減
	幼稚園型認定こども園	幼保連携型認定こども園	
1号定員	84名	60名	△24名
2号定員	36名	60名	24名
3号定員	24名	30名	6名
合計	144名	150名	6名

※1号定員：教育枠、2号定員及び3号定員：保育枠

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
子ども・子育て支援事業費（施設等利用費） （こども保育課）	16,049	12,036			4,013																		
説 明																							
<p>○ 幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園、認可外保育施設の利用料及び幼稚園の預かり保育の利用料等のうち、幼児教育・保育の無償化対象経費を保護者または保育施設等へ給付し、保護者の負担軽減措置を講じることにより、質の高い幼児教育の機会の提供に努めました。</p>																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>利用者数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新制度未移行幼稚園利用費分</td> <td>のべ209人</td> <td>5,325千円</td> </tr> <tr> <td>認可外保育施設利用費分</td> <td>のべ379人</td> <td>8,410千円</td> </tr> <tr> <td>預かり保育利用費分</td> <td>のべ467人</td> <td>2,258千円</td> </tr> <tr> <td>一時預かり利用費分</td> <td>のべ4人</td> <td>56千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>のべ1,059人</td> <td>16,049千円</td> </tr> </tbody> </table>						項目	利用者数	給付額	新制度未移行幼稚園利用費分	のべ209人	5,325千円	認可外保育施設利用費分	のべ379人	8,410千円	預かり保育利用費分	のべ467人	2,258千円	一時預かり利用費分	のべ4人	56千円	計	のべ1,059人	16,049千円
項目	利用者数	給付額																					
新制度未移行幼稚園利用費分	のべ209人	5,325千円																					
認可外保育施設利用費分	のべ379人	8,410千円																					
預かり保育利用費分	のべ467人	2,258千円																					
一時預かり利用費分	のべ4人	56千円																					
計	のべ1,059人	16,049千円																					
児童健全育成事業費 （こども保育課）	521,526	267,764		74,963	178,799																		
説 明																							
<p>○ 昼間保護者のいない家庭の小学生に適切な遊びや生活の場を確保し、児童の健全な育成と保護者の就労支援を図りました。 また、こどもクラブで勤務する放課後児童支援員等を対象とした研修会を開催し、育成支援の質の向上を図りました。</p>																							
<ul style="list-style-type: none"> ・施設数 23箇所(50クラス) ・利用児童数 1,848名（令和元年5月1日） ・研修実施回数 計3回（延べ参加人数 187名） 																							

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
飲料水対策事業費 (健康増進課)	94,770			21	94,749
説 明					
○ 大野原地区の給水不安地区において、業務委託により給水作業を実施することにより、安全で安心な飲料水を供給しました。					
大野原地区給水業務委託	1,386千円				
○ 水道未普及地区の給水不安地区において、安定した給水と住民の衛生的生活を確保するため、会津若松市給水施設等整備費補助金の交付等に関する要綱に基づき、地区が行う給水施設等の整備に対し補助金を交付しました。					
給水施設等整備費補助金	93,384千円				
実施地区 2地区					
・湊町崎川(浜)地区	90,931千円			(前年度から繰越)	
・一箕町石畑地区	2,453千円				
成人健康診査事業費(肺がん施設検診) (健康増進課)	32,448				32,448
説 明					
○ 肺がん検診について、新たに施設検診を導入し、集団検診での実施とあわせて肺がん検診の受診率向上による肺がんの早期発見及び早期治療の促進を図りました。					
・肺がん施設検診実施医療機関	28施設				
・受診状況					
		H30	R1		
対象者数(人)		42,520	40,898		
受診者数 (人)	集団	4,554	4,156		
	施設	—	5,125		
	計	4,554	9,281		
受診率(%)		10.7	22.7		

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
斎場運営費（斎場火葬炉運転維持管理業務委託料） （市民課）	40,211				40,211

説 明

○ 斎場火葬炉及び付属設備の適切な運転・維持管理を行うとともに、斎場火葬炉設備長寿命化方針（平成29年6月策定）に基づき、平成31年4月から火葬・収骨業務等の委託を開始し、斎場運営の安定化を図りました。

1. 委託期間

平成31年4月1日～令和5年3月31日（業務履行期間）

※契約締結日（平成30年9月1日）から平成31年3月31日までの期間は、受託者との業務にかかる協議調整及び習熟のための期間

2. 主な業務内容

- ・火葬業務
- ・運転維持管理業務
- ・危機管理業務

3. 委託料

平成31年度 40,210,100円

[参考]

斎場火葬炉運転維持管理業務委託料

(単位：円)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
委託料	40,210,100	40,579,000	40,579,000	40,579,000	161,947,100

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農産物等販路開拓・販売促進事業費 (農政課)	1,005				1,005

説明

○ 首都圏等でのイベントを通じて、地元農産物の安全・安心・高品質・良食味についてPRを実施し、販路の維持・拡大を図りました。

1. 販路開拓に係る個別相談会開催

- ・ 開催日 令和2年1月30日
- ・ 場 所 生涯学習総合センター
- ・ 参加者 5名
- ・ 内 容 新規販路開拓、6次化について

2. PR活動

開催日	事業名	開催場所
令和元年 5月18日～19日	よこすかカレーフェスティバル2019	神奈川県横須賀市
8月24日	スズキヤにおける販売促進イベント	神奈川県横須賀市等
11月12日	スズキヤにおける販売促進イベント	神奈川県横須賀市等
11月14日～15日	会津みしらず柿PRイベント	宮城県仙台市
11月30日	北会津銘柄米部会消費地情勢調査活動及び販売促進活動	福岡県福岡市

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
「会津の食」ブランド化事業費 (農政課)	10,700	3,000			7,700

説 明

○ あいづ食の陣実行委員会負担金

あいづ食の陣実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら旬の地元農畜産物をメインとした飲食メニューの提供・販売を行うことにより、会津の食の魅力を外部へ発信するとともに、地元農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。

① シーズンイベント

1年間を春(4月～6月)、夏(7月～9月)、秋(10月～12月)、冬(1月～3月)の4シーズンに分け、各シーズンのテーマ食材を利用した飲食メニューやお土産等の情報提供をするとともに、シーズン毎にパンフレットを作成し、参加店舗、提供メニューのPRや各シーズンの会津の魅力を紹介し、広く情報発信を実施しました。

・テーマ食材：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米、酒、冬…会津地鶏

・参加店舗の実績

*春・アスパラ	： 飲食店：43店、宿泊施設：7施設、販売店：14店	計64店舗
*夏・トマト	： 飲食店：40店、宿泊施設：7施設、販売店：14店	計61店舗
*秋・米、酒	： 飲食店：47店、宿泊施設：8施設、販売店：22店	計77店舗
*冬・会津地鶏	： 飲食店：43店、宿泊施設：6施設、販売店：5店	計54店舗

② 広報PR活動

あいづ食の陣の日を始め、地域内外でのイベント開催等によるPR活動や、参加団体が実施する食のイベント情報を集約し広くPR活動を実施しました。また、テーマ食材別パンフレットの作成(4回)、イベントへの出展、市ホームページ、公式ホームページ、フェイスブック、市政だより、地方テレビ局の活用、地元新聞社の広告掲載等により広報活動を実施しました。

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市産米価格維持向上推進事業費 (農政課)	8,093				8,093
説 明					
<p>○ 会津産コシヒカリの中でも栽培方法や食味値などによって厳選した米を「AiZ' S-RiCE」としてブランド化し、米集出荷業者が共同でPR・販売することで、本市産米価格の維持・向上を図りました。</p> <p>本年度は、首都圏へのプロモーションやキャラバン活動等を通して、「AiZ' S-RiCE」の販売チャネル獲得という本事業の課題に対し、新規特約店を22店舗獲得する等、効果的な取組を実施することができました。</p> <p>①会津エリアでのプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AiZ' S-RiCE」お披露目会見試食会の実施（田季野） ・「AiZ' S-RiCE」取扱店舗での試食販売（まんまーじゃ、コープ、リオンドール、ブイチェーン） ・地産地消まつりでのPR・販売 ・地元飲食店フェアの実施 ・学校給食利用事業（北会津地区学校給食センター、河東地区学校給食センター） <p>②首都圏等でのプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百貨店でのモニター販売（大丸京都店） ・「AiZ' S-RiCE」お披露目会見試食会の実施（つきぢ田村） ・外食フェアの実施（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府） ・米穀小売店へのプロモーションの実施（東京都、埼玉県） ・「AiZ' S-RiCE」キャラバン活動の実施（東京都、埼玉県） <p>③オンラインストアへの出店（Amazon、Yahooショッピング）</p> <p>④商談会への出展</p> <p>⑤販促品の作成（パンフレット等）</p> <p>⑥「AiZ' S-RiCE」のロゴマークについて商標権を取得</p>					

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
鳥獣被害防止総合支援モデル事業費 (農林課)	1,525				1,525
説 明					
<p>○ 集落環境診断</p> <p>事業対象地区である湊町の3地区（赤井、東田面、原）において、専門家を招いて地区住民自らが集落周辺の環境の現状を理解することで、集落周辺の野生鳥獣の生息状況や環境整備の必要性について理解を深める機会を設け、「生息環境管理」に対する理解の促進を図りました。</p> <p>○ 緩衝帯の整備</p> <p>地区住民自らが、集落環境診断結果をもとに、集落周辺や集落内における誘因物の除去や不要木の伐採、藪の刈り払い等を実施することで、野生鳥獣が侵入しにくい集落環境の整備を推進しました。</p> <p>○ 広域での電気柵の設置</p> <p>専門業者の指導の下、地区住民による自主的な鳥獣被害対策として電気柵設置を実施することで「被害防除」の重要性及び効果について理解の促進を図りました。</p> <p>○ 電気柵購入に係る経費の補助</p> <p>事業対象地区における電気柵の購入経費に対して補助し、地区の負担を軽減しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業対象地区の補助率：購入経費の80%（上限50万円） <p>○ 実績報告会の開催</p> <p>事業実施地区である湊町の3地区（赤井、東田面、原）合同での実績報告会を開催し、各地区での事業の成果や改善点等について共有することで、次年度以降の事業に対する目標や、事業の方向性について検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実績（各地区からの報告を含む） <ul style="list-style-type: none"> 【 赤 井 】 電気柵設置延長：約2.3km イノシシ対策をメインとした2段の電気柵を設置することで、事業効果の高さを実感しました。喜多方市から、電気柵の設置状況の視察がありました。 【 東田面 】 電気柵設置延長：約2.5km ツキノワグマ、イノシシ対策をメインとした、3段の電気柵を設置することで、野生鳥獣の侵入がなく、被害も発生しませんでした。 【 原 】 電気柵設置延長：約1.7km ツキノワグマ、イノシシ対策をメインとした、3段の電気柵を設置することで、野生鳥獣の侵入はなく、事業効果の高さを実感しました。山形県から、電気柵の設置状況の視察がありました。 					

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源								
森林経営管理事業費 (農林課)	8,910			8,910									
説 明													
<p>○ 市が私有林を整備するために必要な「経営管理権（森林所有者に代わって市が管理するための権利）」の取得に向け、森林所有者の経営管理に対する意向調査を行いました。</p> <p>森林経営管理意向調査業務委託 湊町崎川地区・原地区 25.81ha 門田町御山地区 40.15ha</p>													
森林環境基金積立金 (農林課)	12,990			1	12,989								
説 明													
<p>○ 国の「森林環境譲与税」の譲与に伴い、新たに森林環境基金を創設し、「森林環境譲与税」を基金に積み立てました。 また、これに伴う預金利子も積み立てました。</p> <p>森林環境譲与税譲与額 12,989千円</p> <p>森林環境基金利子積立金 1千円</p> <p>森林環境基金の推移</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">森林環境譲与税譲与額</td> <td style="text-align: right;">12,989,000円</td> </tr> <tr> <td>取崩額</td> <td style="text-align: right;">▲ 8,910,000円</td> </tr> <tr> <td>森林環境基金利子積立金</td> <td style="text-align: right;">298円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度末基金残高</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,079,298円</td> </tr> </table>						森林環境譲与税譲与額	12,989,000円	取崩額	▲ 8,910,000円	森林環境基金利子積立金	298円	令和元年度末基金残高	4,079,298円
森林環境譲与税譲与額	12,989,000円												
取崩額	▲ 8,910,000円												
森林環境基金利子積立金	298円												
令和元年度末基金残高	4,079,298円												

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
商工業振興事業費（商店街連合会補助金） （商工課）	4,000				4,000
説 明					
<p>○ 商店街組織の強化と商業の活性化を図るため、会津若松市商店街連合会が実施する各種事業に対し、補助金を交付しました。</p> <p>1. 消費喚起事業 令和元年10月の消費税率引上げ等に伴い、地域住民の消費マインドの低下が懸念されたことから、その対策として消費喚起イベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント名 会津商人魂～令和元年大判振舞い～ ・ イベントの概要 ①購入額に応じて配布される応募シールを一定数集めて応募 ②抽選で共通商品券等の景品を贈呈 ・ イベントの期間 令和元年10月1日（火）～10月20日（日） ・ 応募件数 15,338件 ・ 事業の効果 イベント中の消費額 約46,000千円（応募1件当たりの購入額3,000円） 商品券利用による消費額 1,378千円 <p>2. 商店街組織の強化等に向けた事業</p> <p>○ 視察研修事業 商店街活動に対する意識醸成及び商店街間の連携力強化を図るため、他団体が実施する視察研修事業に参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主催者 会津若松商工会議所（小売商業部会） ・ 実施日 令和元年10月23日（水）～10月24日（木） ・ 研修先 北上市本通り商店街振興組合（岩手県北上市） 盛岡市肴町商店街振興組合、盛岡大通商店街協同組合（岩手県盛岡市） <p>○ 十日市フォトコンテスト 十日市の魅力をPRするため、十日市の様子を撮影した写真を募集するフォトコンテストを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募者数 15名 ・ 応募作品数 28点 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地場産業振興事業費（会津清酒消費拡大推進協議会負担金） （商工課）	1,700				1,700

説 明

○ 会津清酒の消費拡大を図るため、会津清酒消費拡大推進協議会へ負担金を交付し、住民参加型のイベントや講習会等の事業を実施しました。

1. 「会津 日本一おいしいお酒が飲める郷」事業
 - ・「会津清酒の普及の促進に関する条例」などの啓発事業
HPやSNSによる情報発信
 - ・会津の品格セット普及・拡大推進事業
各種イベントにおいて、会津清酒と会津漆器、会津木綿を組み合わせた、「会津の品格セット」を展示するとともに、贈答品として活用・PRしました。
 - ・地域イベントでの会津清酒のPR事業
下記イベント等において会津清酒を提供しPRを実施しました。
(東山盆踊り、芦ノ牧温泉あゆの会、街ぐるウォークなど)
2. 会津清酒屋台村事業

花見の季節などにあわせた屋台村を開催し、季節にあったお酒の提供や飲み方の提案を行いました。

 - ・開催日：平成31年4月20日（土）、21日（日）
場 所：鶴ヶ城二の丸
参加者数：約1,100名
 - ・開催日：令和元年6月1日（土）
場 所：鶴ヶ城帯郭
参加者数：約600名
3. 会津清酒で乾杯事業

10月1日の「日本酒の日」に合わせ、会津清酒を注いだ会津漆器の盃を使い、来場者参加型の一斉乾杯イベントを実施するとともに、様々な酒蔵のお酒を楽しむことができる屋台村を開催しました。

 - ・開催日：令和元年10月1日（火）
場 所：鶴ヶ城帯郭
参加者数：約500名
4. 会津清酒おもてなし講座事業

飲食店や観光関係者などを対象に、会津清酒の歴史や酒造り、きき酒による味の違いを学ぶ講習会を開催しました。

 - ・期 間：平成31年4月～令和2年3月
回 数：9回
参加者数：延べ166名

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地場産業振興事業費（会津漆器販路拡大事業 実行委員会負担金） （商工課）	2,503				2,503
説 明					
○ 消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバルへの出展を支援するため、会津漆器販路拡大事業実行委員会へ負担金を交付し、新しくデザインされた会津塗の魅力づくりと発信により、会津塗の振興を図りました。					
1. 勉強会（全3回）					
<p>テーブルウェア・フェスティバルのシニアプロデューサーを講師に招聘し、新たな販路開拓に向けた付加価値の高い商品づくりを行うための勉強会を開催しました。</p> <p>内 容：「会津塗のブランド価値の向上」「固定客をつかむものづくり～ファン獲得への戦略」など</p> <p>参加者：延べ37名</p>					
2. 商品開発指導会（全4回）					
<p>テーブルウェア・フェスティバルのシニアプロデューサーを講師に招聘し、ターゲットとする女性に好まれる色やデザイン、大きさなどのトレンドの取り入れ方や、各社の強みや個性を生かした商品開発の手法について学ぶ指導会を開催しました。</p> <p>参加企業：延べ31社</p>					
3. テーブルウェア・フェスティバルへの出展					
<p>開催期間：令和2年2月2日（日）～2月10日（月）（9日間）</p> <p>開催場所：東京ドーム</p> <p>参加企業：7社</p>					
4. フィードバックセミナーの実施（1回）					
<p>テーブルウェア・フェスティバルの出展後に今後の課題の共有を図る場を設け、魅力ある商品やトレンドを生かしたものづくりについて協議を行いました。</p> <p>参加企業：7社</p>					
5. 流通マーケティングセミナー（全2回）					
<p>大手商社バイヤーの経歴を持つ講師を招聘し、マーケティングに対する産地全体の意識向上を図るため、会津漆器協同組合員等を対象にセミナーを開催しました。</p> <p>内 容：「女性バイヤーから見た生活者が今求めるモノと市場動向」など</p> <p>参加者：延べ19名</p>					
6. 地域内展示（会津伝統工芸フェアとのタイアップ）					
<p>会津伝統工芸フェアにおいて、テーブルウェア・フェスティバルに出展予定の新商品等を中心にテーブルコーディネート展示を行い、地域内での開発商品PRを行いました。</p> <p>開催期間：令和元年10月25日（金）～10月27日（日）（3日間）</p> <p>開催場所：會津稽古堂</p> <p>参加企業：10社</p>					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
桜咲く会津プロジェクト推進事業費 (商工課)	8,717				8,717

説 明

- イオン株式会社との地域貢献協定を活かし、会津地域の農産食品を継続的に首都圏に流通させていくため、桜咲く会津プロジェクト実行委員会へ負担金を交付し、各種事業の展開により、販路開拓を図りました。
- イオングループ4店舗において会津フェスタを開催
 実施期間：令和元年9月～令和元年11月
 開催内容：トップセールス、催事、郷土芸能披露、観光PR、地域製品の試食PRなど
 開催地域：関東地域
 - 商談会の実施
 開催回数：17回
 開催場所：市内、東京都、千葉県
 開催内容：市内企業とイオングループバイヤーとの商談会
 参加企業：市内企業延べ57社
 - 研究会の開催
 開催回数：11回
 開催場所：市内等
 開催内容：「生産量の確保及び流通網の整備」や「商品開発におけるマーケティング不足」といった課題を解決するため、地域内で生産活動を行う農畜産業者、食品加工業者などを対象とした研究会を実施
 - イオンイーハートとの連携
 開催回数：3回
 開催場所：会津地域内
 開催内容：会津産コシヒカリを使用しているイオンイーハートの新入社員を受け入れ、会津産コシヒカリや農産物等の理解促進を図るための研修を実施
 受入人数：延べ47名
 - 人材育成セミナーの実施
 開催場所：市内
 内 容：香港市場における日本商品の評価やトレンドなど
 参加者：会津地域内企業等17名
 - 常設販売コーナーを活用した会津産品等のPRイベント
 実施期間：令和2年2月1日（土）～2月2日（日）
 実施場所：イオン浦和美園店
 実施内容：会津産品の試食販売、観光PRなど

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
中心市街地活性化事業費（まちなか賑わいづくりプロジェクト事業負担金） (商工課)	1,500				1,500
説 明					
<p>○ 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業を市民協働により継続して実施し、市民や観光客の回遊性及び滞留性の向上による交流人口の拡大を図るとともに、地域住民をはじめとした多様な主体のまちなかの賑わいづくりへの参画を促進しました。</p> <p>1. 賑わいづくり人材育成事業</p> <p>効果的な情報発信の手法について、講師を招いた研修会を開催するとともに、まちなかの情報に特化した情報誌を発行し、魅力の発信を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会（全2回） ○ 情報誌「まちなかのヒト・モノ・コト 再発見マガジン きっせ。」の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数：15,000部 ・設置箇所：中心市街地の商店街、金融機関、公共施設、コンビニ、個店等 <p>2. まちなかスペース活用事業</p> <p>商店街の魅力ある店舗を新たに発見する機会とすることを目的に、民間団体と協働でイベントを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名 称 AizuまちなかマルシェVol.8「山の日 ビアパーク」 ・日 時 令和元年8月11日（日）16：00から21：00まで ・場 所 野口英世青春広場及び近隣の商店街 ・内 容 飲食物の提供、音楽ライブ、抽選会等 <p>3. まちなか景観づくり（通りの修景整備）事業</p> <p>「歩いて楽しい、歩きたくなる通り」を形成し、市民や観光客の回遊性・滞留性の向上を図ることを目的に、まち歩きワークショップ等での意見をもとに、ブロック塀の板塀化や塗装による修景を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ブロック塀への板塀づくり <ul style="list-style-type: none"> ・場所：七日町通り「旧松本酒店」脇 ○ ブロック塀への塗装ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：鶴ヶ城西出丸側（旧県立会津学鳳高等学校）のブロック塀の土台 ・開催日：令和元年9月8日（日） ・参加者：10名 ○ 過去に設置した板塀の再塗装ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・場 所：大町通り、七日町通り、会津若松市役所通り、博労町通りの10か所 ・参加者：延べ37名 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
商業地域活性化事業費（中小企業及び小規模企業振興補助金） (商工課)	23,867	5,974		834	17,059

説 明

- 中小企業者及び小規模事業者の自主的な努力を助長し、活力ある持続的な成長発展を図るため、中小企業者及び小規模企業者が行う各種事業に対し、補助金を交付しました。

事業名	件数 (件)	金額 (千円)
商店街施設設置事業補助金	1	1,010
イベント事業補助金	13	3,229
人材育成事業補助金	3	609
商店街空き店舗対策事業補助金	21	15,815
商店街施設維持管理事業補助金	15	1,204
チャレンジ企業応援補助金	3	2,000
合計	58	23,867

1. 商店街施設設置事業補助金

商店街の環境整備を図るため、共同施設を設置する事業に対し、補助を行いました。

- ・馬場一之堅町商店会 「街路灯設置事業」

2. イベント事業補助金

商工業の振興及び商店街の活性化を図るため、共同して市民を対象としたイベントを開催する事業に対し、補助を行いました。

- ・会津MARCHE実行委員会 「会津MARCHE」
- ・会津若松市まちなか健康商店街実行委員会 「会津若松市まちなか元気プロジェクト」
- ・会津若松卸商団地協同組合 「第12回会津アピオフェスティバル」 ほか10件

3. 人材育成事業補助金

経営管理能力及び技術の向上等を目的とした研修の実施や、他の団体等が主催する研修への参加に対し、補助を行いました。

- ・七日町通りまちなみ協議会 ほか2件

4. 商店街空き店舗対策事業補助金

空き店舗の解消を図るため、商店街が自ら選定した業種を空き店舗へ誘致する事業や、コミュニティスペースとして利用する事業に対し、補助を行いました。

- ・大町四ツ角中央商店街振興組合 6件
- ・七日町通りまちなみ協議会 5件
- ・会津若松市役所通り商店街振興組合 2件 ほか8件

5. 商店街施設維持管理事業補助金

街路灯の維持管理に要する電気使用料に対し、補助を行いました。

- ・神明通り商店街振興組合
- ・会津若松市中央通り商店振興会 ほか13件

6. チャレンジ企業応援補助金

地域資源を生かした新製品の研究開発や、新たなビジネスモデルの創出など、新事業の展開を図るための調査研究や試験的な実施等の取組に対し、補助を行いました。

- ・株式会社鶴我 会津の食材・馬肉を使った「会津さくら弁当」開発・販売事業 ほか2件

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
漆香るプロジェクト推進事業費 (商工課)	4,000				4,000
説 明					
<p>○ 会津塗のブランド力向上と販売促進を図るため、漆香るプロジェクト実行委員会へ負担金を支出し、ANAグループと連携した各種事業や国内外に向けた漆器の情報発信とプロモーションに取り組みました。</p> <p>1. ANAグループへの採用を目指した取組</p> <p>① ANA免税店でのテスト販売 実施期間：令和元年11月11日(月)～12月2日(月) 開催場所：成田国際空港第4サテライト内免税店 開催内容：外国人旅行者をターゲットとした会津塗商品の販売、マーケティング調査</p> <p>② 商品提案会 ・商品提案会の実施(2回) 実施内容：免税店でのテスト販売に向けたバイヤー招聘による商品提案、オンラインショップ2社への商品提案 参加者：市内事業所延べ5社</p> <p>2. 世界への情報発信・プロモーションとインバウンド向けプロモーション</p> <p>① シンガポールでの会津塗プロモーション 開催期間：令和2年1月11日(土)～3月31日(火) 開催場所：シンガポール・チャンギ国際空港 開催内容：空港内2ヶ所で会津塗のPR動画「漆と暮らす」及び会津地域のPR動画「極上の会津」の放映、地域紹介パネルの展示を実施</p> <p>② 成田国際空港での会津塗のプロモーション 実施期間：令和元年11月23日(土)～11月24日(日) 開催場所：成田国際空港第4サテライト 開催内容：伝統工芸士による蒔絵の実演、会津塗の展示</p> <p>3. 海外への輸出促進等に向けた取組</p> <p>① シンガポールでの販路拡大に向けた取組 実施期間：令和2年2月4日(火)～2月7日(金) 実施場所：JR東日本シンガポール支店ほか4社 実施内容：現地企業5社の視察、市場調査、意見交換会を実施</p> <p>② ANAのネットワーク活用による海外ブランドとのマッチング 実施日時：令和2年3月16日(月) 実施場所：リシュモンジャパン(株) 実施内容：MONTBLANCブランドへの本漆製品採用に向けたプレゼンテーション</p>					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
商工業金融対策事業費（創業支援信用保証料補助金） (商工課)	456				456
説 明					
<p>○ 新たに事業を営む者の負担軽減を図り、その経営安定化を支援し、新しい産業等の育成振興を図るため、福島県起業家支援保証制度の融資を受ける創業者に対して、創業支援信用保証料補助金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率 補助対象者が支払った信用保証料の4分の3 ・ 交付件数 4件 ・ 交付金額 456千円 					
企業誘致促進事業費（用地取得助成金） (企業立地課)	259,502				259,502
説 明					
<p>○ 会津若松徳久工業団地の用地を取得した企業に対し、用地取得費の一部を助成することにより、当該工業団地への企業立地を促進し、産業の振興と雇用機会の拡大を図りました。 令和2年3月にヒメジ理化株式会社の新工場が操業を開始したことにより、当該工業団地の全立地企業が操業しており、約400名の雇用創出が見込まれています。</p> <p>用地取得助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件 数 2件 ・ 交付金額 259,502千円 <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①東亜電気工業株式会社 93,060千円 (徳久工業団地 区画3-1) ②ヒメジ理化株式会社 166,442千円 (徳久工業団地 区画2及び区画4) 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費(会津まつり協会負担金) (観光課)	80,635				80,635
説 明					
<p>○ 会津まつり協会に対して負担金を支出し、まつりやイベント等の開催によるにぎわいの創出や地域の振興を図りました。</p> <p>1. 会津まつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：令和元年9月21日(土)～23日(月) ・ 観客数：約235,500人 ・ 実施イベント：提灯行列、会津磐梯山踊り、会津藩公行列、日新館童子行列、鼓笛隊パレード ・ 市制120周年記念事業の一環として開催し、提灯行列では、今回初めて、子供たちによる先触れの太鼓が行列を先導しました。会津藩公行列は歴代領主編として行い、特別ゲストとして綾瀬はるかさん、鈴木梨央さんに参加していただきました。 <p>2. 日光東照宮流鏝馬会津若松特別公演事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：令和元年9月23日(月) ・ 会場：県立病院跡地、市立第二中学校 ・ 来場者数：約3,500人 ・ 市制120周年記念協賛事業として、日光東照宮による流鏝馬の特別公演を開催し、会津と日光との交流を深めました。 <p>3. 鶴ヶ城さくらまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：平成31年4月5日(金)～令和元年5月6日(月) ・ 来場者数：約293,400人 ・ 実施イベント：鶴ヶ城公園ライトアップ、會津十楽、あいづ着物でさんぼ、植木市、おもてなし市、大撮影会、さくらまつり大茶会、会津清酒で花見酒、会津の郷土芸能等披露 ・ 「2019春の観光誘客促進事業」の一環として、大型連休特別事業「会津サムライまつり」と連携・協力し、相乗的に誘客を図りました。 <p>4. 会津絵ろうそくまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：令和2年2月7日(金)～2月8日(土) ・ 来場者数：約24,500人 ・ 会津大学短期大学の学生による干支「ねずみ」の地上絵や、日光市鬼怒川温泉の秋イベント「月あかり花回廊」の和傘等の演出、日光市との連携協定締結を記念した「氷の彫刻」、「会津鉄道沿線“冬”活性化協議会」による「スカイランタン」などを実施し、各種団体との連携により冬季の観光誘客を図りました。 <p>5. 体感！光の杜ミュージアム(アイズテラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：令和2年2月14日(金)～3月1日(日) ・ 来場者数：約3,900人 ・ 鶴ヶ城本丸において、折り鶴を踏むと花火がはじける「グランドマッピング」や、願い事を書いた短冊を貼って宙に浮かべる「スカイランタン」などの体験型イルミネーションを実施し、冬季の観光誘客を図りました。 <p>6. 歳の神事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日：令和2年1月14日(火) ・ 来場者数：約1,000人 ・ 東山温泉観光協会との共催により、小正月の伝統行事の継承と市民・観光客の交流促進を図りました。 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費（会津若松観光ビューロー補助金） （観光課）	36,221				36,221

説 明

○ 一般財団法人会津若松観光ビューローが実施する、観光振興及び物産振興に資する事業に対して、補助金を交付しました。

1. 観光案内所管理運営業務

観光案内所の管理運営と観光案内の機能充実に努めました。

案内所	元年度案内件数	うち外国人観光客数	30年度案内件数	うち外国人観光客数
会津若松駅案内所（V案内所）	29,502人	3,731人	45,803人	3,927人
飯盛山観光案内所	13,079人	287人	9,207人	266人

2. ボランティアガイドの運営

市民ボランティアガイドの運営により、親切丁寧な観光案内に努めました。

元年度実績	鶴ヶ城ガイド	まちなかガイド	講話ガイド	飯盛山ガイド	御薬園ガイド	合計
件数	4,453件	22件	1件	648件	1,665件	6,789件
利用者数	39,887人	471人	25人	6,601人	10,077人	57,061人

3. 物産推進事業

関係団体と連携し、イベントへの出展や観光・物産PRを実施しました。

4. PR活動事業

HPや観光パンフレットにより、観光情報の発信に努めました。

- ・HP「会津若松観光ナビ」の運営
- ・観光パンフレットや観光マップの作成・配布

5. 会津若松市観光大使等事業

- ・新たに6名の観光大使を任命し、観光PRに努めました。（令和2年3月末現在 34名）
- ・「会津キャンペーンクルー」の派遣により、本市のイメージアップと観光PRに努めました。（派遣回数 34回）

6. 賛助会員交流事業

連絡協議会の開催や情報誌の発行を行い、賛助会員相互の連携と情報共有に努めました。

（令和2年3月末現在 会員数321社）

- ・連絡協議会 1回開催
- ・会報誌発行 9月

7. 手ぶらでまちなか観光事業

東山温泉観光協会・芦ノ牧温泉観光協会との連携により、会津若松駅でお客様の手荷物を預かり、両温泉の宿泊施設までお届けするサービスを提供しました。（利用件数 2,411件）

8. おもてなし事業

会津若松駅において、SL(DL)ばんえつ物語号、TRAIN SUITE 四季島等の歓迎おもてなしを実施しました。（実施回数40回）

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光物産復興特別事業費（会津若松観光ビューロー特別補助金） （観光課）	17,640				17,640

説 明

○ 冬季の誘客対策、広域観光、教育旅行やインバウンドの推進など、原子力発電所事故による風評を払しょくするため、会津若松観光ビューローが重点的に実施する事業に対し補助金を交付しました。

1. 教育旅行推進事業

県外の小中学校や旅行会社などへの訪問活動を通して、本市の魅力や安全性などについての情報発信を行い、教育旅行の回復に努めました。

- ・ 学校・旅行エージェント訪問 167件
- ※うち生徒の保護者への講話・説明の実施 1件
- ・パンフレット（教育旅行版『あいばせ』）等の作成・配布

	令和元年度	平成30年度	対前年比
県外来訪校数	663校	670校	99.0%

2. インバウンド推進事業

多言語パンフレットなどの外国人向けPRツールの作成・配布や各種プロモーション・商談会への参加などにより、インバウンド誘致と受入態勢の強化に努めました。

3. コンベンション推進事業

市内の宿泊施設、会議施設、観光資源などの情報発信や開催支援事業（助成制度）の実施により、コンベンション誘致に努めました。

4. エージェント助成金事業

冬季における誘客促進のため、エージェントに対し送客実績に応じた助成を行い、誘客数の増加を図りました。

5. 観光交流推進事業

新潟市と連携してさいたま市での観光物産展に出展し、観光物産振興に努めました。

6. 情報発信強化事業

観光動向に係る調査を実施し、結果の分析・活用を図りながら、「会津若松観光ナビ」によるデジタルプロモーションの強化を図りました。

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
温泉地域活性化推進事業費（温泉地域活性化推進事業補助金（台風19号被災支援）） （観光課）	1,850				1,850
説 明					
<p>○ 芦ノ牧温泉観光協会が実施する、令和元年台風19号により温泉汲上施設の水没被害を受けた温泉供給事業者への支援事業に対して、補助金を交付しました。</p> <p>1. 被害状況 芦ノ牧温泉の旅館ホテル8施設及び芦ノ牧温泉病院等に温泉を供給するための温泉汲上施設が阿賀川の増水により水没し、ポンプ3台及び屋外型制御盤が損壊。</p> <p>2. 支援事業の概要 ①源泉井戸3ヵ所における温泉汲上ポンプ3台の入替工事、調整点検 ②源泉井戸における屋外型制御盤の入替工事、調整点検</p>					

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
除雪対策事業費 (道路課)	439,562	75,097	10,700	21,796	331,969

説 明

○ 冬期交通の安全確保を目的に、除排雪対策、雪害対策を実施しました。

1. 委託料

内 容	事業量	事業費
道路除雪等業務	車道 833.4km 229台 歩道 117.8km 40台	232,227千円
間口除雪業務	10町内会 56世帯 291回	96千円
消雪施設整備管理業務	点検整備操作 25.9km	23,791千円
防雪柵設置・撤去業務	固定式 4路線 1.95km 仮設式 9路線 3.92km	28,694千円
自家用電気工作物保安管理業務	中町・赤井地区消雪施設 2箇所	310千円
除雪車運行システム業務	G P S 搭載機器 320台	12,793千円
水源施設揚水量調査業務	市道若3-359号線水源施設	2,860千円
合 計		300,771千円

2. 工事請負費

内 容	事業量	事業費
防雪柵設置工事	固定吹止式 H=3.5m L=52.0m	11,371千円
消雪施設補修工事	赤井・倉道地区消雪施設補修	255千円
防雪柵補修工事	防雪柵補修 N=3箇所	499千円
合 計		12,125千円

3. 備品購入費

内 容	事業量	事業費
除雪ドーザー	8t級 1台	11,440千円
小型ロータリー除雪車	1.0m級 1台	10,208千円
凍結防止剤散布車	散布機、軽自動車 4×4 1台	2,618千円
合 計		24,266千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
舗装及び改良事業費 (まちづくり整備課)	147,409	71,320	67,400		8,689

説明

○ 交通渋滞の解消、経済活動・観光産業の活性化促進、生活環境の改善を図るため、幹線市道の道路網整備等を行いました。また、高齢者や障がい者などの通行を安全なものとし、快適なくらしを創出するため、歩道の整備を行いました。

1. 工事請負費

工種	区分	路線数	事業量	事業費
舗装及び改良工	幹線市道	5路線	幹Ⅰ-6号線 (前払金のみ)	102,793千円
			幹Ⅰ-12号線 L=77.6m W=2.4m (歩道)	
			幹Ⅱ-13号線 L=55.4m W=1.8m (歩道)	
			一箕3-356号線 L=138.8m	
			門3-223号線 L=63.2m	
合計			L=335.0m	102,793千円

うち前年度からの繰越 49,065千円

他に次年度への繰越 68,421千円

2. 委託料

内容	事業量	事業費
設計業務委託	門3-13号線	8,980千円
不動産鑑定業務委託	門3-223号線	43千円
合計	2件	9,023千円

他に次年度への繰越 144千円

3. 公有財産購入費

内容	事業量	事業費
土地代	幹Ⅰ-6号線 2件 A=292.87㎡	23,752千円
	門3-223号線 3件 A=594.63㎡	
合計	5件 A=887.50㎡	23,752千円

うち前年度からの繰越 14,093千円

他に次年度への繰越 12,468千円

4. 補償補填及び賠償金

内容	事業量	事業費
物件移転補償費等	幹Ⅰ-6号線 3件	9,948千円
	門3-223号線 2件	
合計	5件	9,948千円

うち前年度からの繰越 6,185千円

他に次年度への繰越 5,420千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
会津若松駅前都市基盤整備事業費 (まちづくり整備課)	51,236	24,898		24,899	1,439

説 明

- 会津若松駅前官民連携基盤整備推進調査業務委託で、現地測量など施設整備についての基礎データ収集や官民連携の可能性について調査を行うとともに、市民や関係団体などの幅広い意見を踏まえて基本構想をとりまとめました。

・委託料

内 容	事業量	金 額
会津若松駅前官民連携基盤整備 推進調査業務委託	○駅前地区の実態調査 ○土地配置計画の検討 調査 ○基盤整備の概略設計 ○PPP/PFI導入可 可能性調査 ○事業計画策定と整備 効果の検討	49,797千円
合 計		49,797千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
鶴ヶ城公園施設改修事業費 (まちづくり整備課)	16,843	1,500		8,157	7,186
説 明					
○ 鶴ヶ城公園における公園施設の安全確保並びに利便性の向上を図るため、施設改修を行いました。					
1. 事業内容 (工事請負費)					
内 容		事業量		事業費	
会津水泳場トイレ洋式化工事		洋風便器取替N=6箇所、換気扇取替等		3,907千円	
鶴ヶ城体育館電灯設備改修工事		屋内電灯設備(照明器具等)N=77台		3,071千円	
会津水泳場旧更衣室屋根改修工事		北面屋根葺替A=88.9㎡、軒天張替等		2,679千円	
合 計				9,657千円	
(備品購入費)					
内 容		事業量		事業費	
バックストロークレッジ		バックストロークレッジN=8基		2,535千円	
合 計				2,535千円	
2. 事業効果					
会津水泳場のトイレの洋式化、旧更衣室の屋根改修、鶴ヶ城体育館の電灯設備改修、水泳競技に必要な備品の購入により、運動施設の利用環境の向上とイメージアップが図られ、有料運動施設として求められる施設機能の確保と利用者の利便性、安全性が向上しました。					
公園施設長寿命化事業費(あいづ総合体育館屋根改修工事) (まちづくり整備課)	235,809	117,904	117,600		305
説 明					
○ 都市公園における老朽化した施設について、安全・安心の確保並びに利便性の向上を図るため、公園施設長寿命化計画に基づき、施設改修を行いました。					
1. 事業内容 (工事請負費)					
内 容		事業量		事業費	
あいづ総合体育館屋根改修工事		屋根葺替(ガリバリウムカラー鋼板)A=5,368㎡ 塔屋部外壁塗装ウレタントップコート塗りA=148㎡		235,809千円	
2. 事業効果					
屋根材の腐食による防水機能の低下を改善し、広域防災施設としての安全性の向上が図られ、有料運動施設として求められる施設機能の確保と利用者の利便性が向上しました。					

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
城前団地建設事業費 (30~31年度継続) (建築住宅課)	168,252	80,150	88,000		102

説明

- 城前団地建替の第3期として、平成30年度～令和元年度の継続事業により、公営住宅第2棟14戸及び周辺道路を整備し、老朽化した施設を更新することで住環境の向上を図りました。

・工事請負費

箇所	内容	事業概要	事業費
城前団地 公営住宅 第2棟	新築工事	鉄筋コンクリート造2階建て、14戸 延べ面積903.60㎡、1DK(2戸)2DK(8戸)3DK(4戸) うち車いす対応1戸)、駐輪場	106,384千円
	電気設備工事	共用部電力引込、太陽光発電2.8kW、幹線・電 灯、テレビ共同受信、電話、火災報知・非常警 報等、及び住戸内電気設備	15,588千円
	給排水衛生 設備工事	共用部給排水・ガス管接続、消火器、井戸等、 及び住戸内給排水衛生、換気設備	15,660千円
道路工事		L=150m 既存道路拡幅、アスファルト舗装、側溝整備	30,620千円
合 計			168,252千円

9 款 消防費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
消防施設整備費 (危機管理課)	45,275		38,500		6,775																		
説 明																							
○ 市民の生命、身体及び財産を火災から守り、安全で安心なまちづくりを推進するために、消防施設の整備を図りました。																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旧第19分団基幹消防屯所・火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">2,442千円</td> </tr> <tr> <td>第17分団倉道地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">847千円</td> </tr> <tr> <td>第17分団駒板地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">880千円</td> </tr> <tr> <td>第19分団大曲地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">704千円</td> </tr> <tr> <td>第3分団消防ポンプ自動車購入（更新）</td> <td style="text-align: right;">21,230千円</td> </tr> <tr> <td>第7分団小型動力ポンプ軽積載車購入（崎川・更新）</td> <td style="text-align: right;">4,277千円</td> </tr> <tr> <td>消火栓新設工事及び修理</td> <td style="text-align: right;">13,121千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">43,501千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	金 額	旧第19分団基幹消防屯所・火の見櫓解体工事	2,442千円	第17分団倉道地区火の見櫓解体工事	847千円	第17分団駒板地区火の見櫓解体工事	880千円	第19分団大曲地区火の見櫓解体工事	704千円	第3分団消防ポンプ自動車購入（更新）	21,230千円	第7分団小型動力ポンプ軽積載車購入（崎川・更新）	4,277千円	消火栓新設工事及び修理	13,121千円	合 計	43,501千円
内 容	金 額																						
旧第19分団基幹消防屯所・火の見櫓解体工事	2,442千円																						
第17分団倉道地区火の見櫓解体工事	847千円																						
第17分団駒板地区火の見櫓解体工事	880千円																						
第19分団大曲地区火の見櫓解体工事	704千円																						
第3分団消防ポンプ自動車購入（更新）	21,230千円																						
第7分団小型動力ポンプ軽積載車購入（崎川・更新）	4,277千円																						
消火栓新設工事及び修理	13,121千円																						
合 計	43,501千円																						
防災対策費（自主防災組織設立補助金） (危機管理課)	258				258																		
説 明																							
○ 地域ならびに本市の防災体制の充実を図るため、自主防災組織設立補助金を交付することにより、自主防災組織の設立・運営及び活動を支援しました。																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 件 数 3 ・ 交付金額 258（千円） 																							
台風19号災害対策経費 (危機管理課)	4,992			4,374	618																		
説 明																							
○ 令和元年東日本台風による風水害被害への対応を図るため、全庁的に警戒配備、情報収集、問い合わせ対応、自主避難所の開設、公共施設等の被害調査などを実施しました。また、災害救助法の適用により、県から救助事務の委任を受け、避難所の設置、食品等の提供、他自治体へ支援物資の運搬を行いました。																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設避難所 9か所 ・ 避難者数 最大時392名 ・ 災害応援 相馬市、いわき市へ給水車及び飲料水を運搬 																							
※財源内訳のその他には、全国市議会議長会災害見舞金及び福島県市議会議長会災害見舞金を含む																							

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
指導研究に要する経費（特別支援員経費） (学校教育課)	33,806			81	33,725
説 明					
<p>○ 心身に障がい等があり、学校生活において支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を配置し、担任と連携しながら個に応じた支援を図ることにより、教育活動の充実を図りました。</p> <p>配置人数 23名 (22校)</p>					
あいづっこ人材育成プロジェクト事業費 (学校教育課)	3,288				3,288
説 明					
<p>○ 「ならぬことはならぬ」という心根を持ち、貪欲に知識を得ようとした先人に憧れ、そして学び、故郷会津に誇りを持つ人材の育成を進めるため、教育委員会のスローガンである「憧れ」・「学び」・「誇り」をキーワードに事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>1. 映画から学ぶ 映画人の講演、映画上映などを通して、中学生に本物の映像文化に触れ、感性を高める機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 中学校 <p>2. 地域から学ぶ 郷土の歴史研究者等を各小中学校に招き、会津の歴史や伝統文化を学ぶことに加え、市内の企業と連携しながら、プログラミング教育などのキャリア教育にも資する機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 小中学校 <p>3. まなべこツアー 歴史資料センター（まなべこ）を活用し、会津の歴史講話を聞き、会津藩主松平家墓所（院内御廟）等を見学することで、郷土の歴史への関心を高める機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 小学校6年生 					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
あいづっこ学力向上推進事業費 (学校教育課)	50,754	3,663		40,654	6,437
説 明					
<p>○ 本市児童生徒の学力のさらなる向上を図るため、平成29年度から令和8年度までの10年間で展望した新たな視点での「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき、学習に主体的に取り組む意欲を養い、思考力、判断力、表現力を育み、自分の夢と希望をかなえることのできる力を身に付けるため、環境整備及び学力向上事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>1. 学級集団育成事業 児童生徒の確かな学力の向上を図る基盤づくりとして、Q-U（児童生徒個人、学級集団の状態、個人と集団の関係性を把握するためのアンケート）を実施し、その活用を図りました。 ※Q-U（Questionnaire-Utilities）</p> <p>2. 読解力向上事業 学校図書館の充実のため学校図書館支援員5名を配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに、授業における積極的な図書館の活用を通して、学力向上のための重要な基礎作りを行いました。あわせて新聞等の教材の活用により、自然環境・社会事象等への関心を高め、読解力・表現力の向上を図りました。</p> <p>3. 指導力向上事業 先進地域、先進校などの実践内容を吸収するため、先進地視察を行うとともに、研修会等の開催を通して、指導力向上を図りました。</p> <p>4. ICT活用学力定着事業 電子黒板等のICT機器を活用し学習への興味・関心を高め、積極的な学習態度を育てるとともに、音声や映像等を効果的に取り入れた授業を行い、学力の定着を図るため、電子黒板機能付きプロジェクターを配置しました。令和元年度において、特別支援学級等へ配置したことから、平成29年度から計画的に取り組んできた電子黒板機能付きプロジェクターの小中学校への配置が完了しました。 また、電子黒板の有効活用を図るため、これまで導入した中学校全学年の英語と数学の指導者用デジタル教科書、小学校3年から6年の算数の指導者用デジタル教科書の整備に加え、各学校の要望に応じたデジタル教材を整備しました。 ・電子黒板等 55セット配置</p> <p>5. チャレンジ事業（学力向上支援事業補助金） 失敗を恐れず物事にチャレンジする精神や大きな感動体験が、主体的な学習を成立させる大きな原動力となることから、各種検定への受検を通し、子ども達のチャレンジ精神を養い、成功体験を通して意欲（チャレンジ精神）を高めました。 対 象： 小中学校 全児童生徒 受検者数： 1,965人 対象検定： 実用英語技能検定、日本漢字能力検定 補助内容： 1検定受検につき 1,000円</p> <p>6. 会津若松市学力向上推進委員会 これまでの全小中学校の代表で組織する「学校教育指導委員会」に加え、本市の児童生徒の学力向上を目指す全市的な取組を加速させるため、有識者による「会津若松市学力向上推進委員会」を設置し、学校・家庭・地域、教育委員会及び関係機関等が連携した実践的施策を含めた学力向上策について、年3回開催して検討を行いました。</p>					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校施設耐震化事業費 (教育総務課)	132,493	38,647	93,500	104	242

説明

○ 学校施設の耐震化を図るため、耐震補強工事の実施設計及び、耐震補強工事を行いました。耐震化工事とともに、窓ガラスへの飛散防止フィルムの施工等、非構造部材の耐震化も実施し、強度の地震にも耐えられる建物となりました。

[経費内訳]

1. 小学校における耐震化事業費

・耐震補強工事の実施設計にかかる経費

学校名	内容	事業費
神指小学校	西棟耐震補強工事实施設計業務委託	2,750千円

・耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
一箕小学校	南棟耐震補強工事	75,403千円
	南棟耐震補強機械設備工事	8,985千円
	南棟耐震補強電気設備工事	8,572千円
	事務費等	767千円
合計		93,727千円

小学校における耐震化事業費	合計	96,477千円
---------------	----	----------

2. 中学校における耐震化事業費

・耐震補強工事の実施設計にかかる経費

学校名	内容	事業費
第六中学校	校舎耐震補強工事实施設計業務委託	6,908千円

・アスベスト分析調査にかかる経費

学校名	内容	事業費
第六中学校	アスベスト含有分析調査等業務委託	99千円

・耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
第五中学校	中央棟耐震補強工事	26,112千円
	中央棟耐震補強電気設備工事	2,745千円
	事務費等	152千円
合計		29,009千円

中学校における耐震化事業費	合計	36,016千円
---------------	----	----------

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校空調設備整備事業費 (教育総務課)	790,016	333,930	435,700		20,386

説明

○ 学校環境衛生基準の順守及び児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、教職員の労働環境の改善を図るため、「冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、小中学校の普通教室等に、エアコンを整備しました。

【経過】

- ・平成30年12月21日 12月議会において学校空調設備整備事業の補正予算可決
- ・平成30年12月27日 公告（公募型プロポーザル方式 ※設計・施工一括方式）
- ・平成31年 1月31日 プロポーザル選定委員会
- ・平成31年 2月 1日 仮契約締結
- ・平成31年 2月12日 2月臨時議会において工事請負契約締結可決
- ・平成31年 2月13日～令和元年 9月30日 施工 ※順次部分使用を実施

【事業費】

- ・工事監理委託

事業名	事業費
小中学校空調設備整備事業（A～Dグループ）工事監理業務委託	7,323千円

- ・工事請負費

グループ名	対象校	整備教室数	総事業費	R元支出額
Aグループ	日新小、松長小、永和小、城南小、小金井小、河東学園小、一箕中、河東学園中	165教室	429,289千円	214,909千円
Bグループ	湊小、大戸小、第二中、第三中、第四中、湊中、大戸中	152教室	364,425千円	182,214千円
Cグループ	一箕小、神指小、門田小、第一中、第五中、第六中	181教室	406,944千円	203,474千円
Dグループ	鶴城小、城北小、城西小、謹教小、東山小、荒館小、川南小、北会津中	150教室	364,176千円	182,096千円
合計		648教室	1,564,834千円	782,693千円



10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市民スポーツ施設管理費(小松原多目的運動場トイレ改修工事) (スポーツ推進課)	10,802			10,200	602
説 明					
<p>○ 小松原多目的運動場のトイレにおいて、汲み取り式による臭気問題が生じ、県・会津・市ソフトボール協会及び各利用団体等から水洗化の要望があり、また、男女共用であることによる課題があったことから、水洗化及び男女別化を行うこととしてトイレ改修工事を実施し、施設の環境整備及び利便性の向上を図りました。</p> <p>[改修工事の内容]</p> <p>(1)水洗化 ・農業集落排水（下水道）への接続による水洗化</p> <p>(2)男女別化 ・既存建物内の物置室を間仕切ることによる男女別化</p> <p>(3)設備等 ・男性用：小便器2基、大便器2基、手洗場1基、物置 ・女性用：大便器2基、手洗場1基、物置 ・物置室</p> <p>(4)竣工年月日 ・令和2年2月25日</p>					
2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業費 (スポーツ推進課)	9,100				9,100
説 明					
<p>○ タイ王国のホストタウンとして、同国ボクシングチームトレーニングキャンプ及び各種交流事業等を実施し、スポーツ及び地域振興に取り組みました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在東京タイ王国大使館及び日本ボクシング連盟を訪問し、本市の取組への支援を依頼し、了承を得ました。 ・タイ王国舞踊団から講師をお迎えし、市民の皆様向けに生活や文化などについて講演会を開催しました。 ・世界少年野球交流事業に参加したタイ王国の子どもたちと本市小学生がタグラグビーで交流しました。 ・タイ王国ボクシングチームの事前キャンプを実施しました。 選手22名（男子14名、女子8名）、コーチ4名 ・ボクシング世界チャンピオン 村田諒太選手の学校訪問を実施しました。 第二中学校を訪問し、ミニ講演会を開催 ・鶴ヶ城ハーフマラソン大会にタイ王国の市民ランナー7名を招待しました。 ・県内商業施設で開催した「ふくしまフェスティバル」へ参加し、本市の取組などについて情報発信しました。 ・会津農林高校と連携し、タイ王国ボクシングチームのおもてなしメニューを開発しました。 <p>[主な成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前キャンプをはじめ、各事業に体験やふれあいを盛り込み、参加者がタイ王国に親しむ機会を提供しました。 ・各事業に参加したタイ人の協力により、タイ王国国内に向けての情報発信ができました。 					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
鶴ヶ城ハーフマラソン大会事業費 (スポーツ推進課)	6,000				6,000

説明

- 会津地方最大のスポーツイベントとして、本市のシンボルである鶴ヶ城をコースに含むマラソン大会を開催し、県内外からの参加と交流を通して、本市の魅力発信を図りました。
 第31回大会は、市制120周年記念として開催し、過去最高の9,008名の申込がありましたが、約1,300名のボランティアスタッフに大会を支えていただき、大きな事故等もなく、安全に大会を運営することができました。

実施大会名：鶴ヶ城ハーフマラソン大会
 参加者数：9,008名（前回大会：8,556名）
 参加状況：県外1,771名（前回1,811名）
 県内7,237名（前回6,745名）うち市内3,642名（前回3,682名）

[主な事業内容]

- ・混雑緩和を図るため、ハーフマラソンコースを一部修正しました。
- ・ハーフの部は、引き続き日本陸上競技連盟公認大会として開催しました。
- ・東京マラソンと提携し、25名のランナーを推薦しました。
- ・京都マラソンと相互にランナー3名を派遣し合い、交流を深めました。
- ・大会に向けたランニング講習会を開催しました。
 タレントの猫ひろし氏をゲストにランイベントを開催 37名参加
- ・参加者向けの宿泊パック・高速バスチケット付き宿泊パックを設けました。
 利用状況：市内旅館ホテル宿泊パック275名（前回126名） 完売
 高速バス宿泊パック30名（前回30名） 完売
- ・前日レセプションを開催し、会津ならではのおもてなしで参加者を歓迎しました。
 会津若松ワシントンホテルにて開催 100名参加（前回100名）
 県外78名、県内（市外）14名、市内8名
- ・あいづ食の陣と連携した取組を実施しました。
 昨年に引き続き、給水所にて、市産ミニトマトを提供
 加盟店の中から参加店舗を募り、前日・当日に特別地酒メニュー等を企画
 （前日9店舗、当日4店舗）

[前回からの主な変更点]

- ・参加者の駐車場をすべて指定し、混雑を緩和しました。
- ・より安全安心に大会を運営するため、関係機関と協議し、スタート時間や制限時間を見直しました。

[主な広報活動]

- ・県内及び近県の大手スポーツ用品店や大手スポーツジムへ要項を送付しました。
- ・テレビ、新聞、ランニング雑誌等への広告掲載を行いました。
- ・大会PR大使を委嘱し、主に首都圏からの参加を奨励しました。
- ・市内小学校の運動会に参加し、PRを実施しました。
- ・大会当日の交通規制情報について、テレビ、新聞、ラジオにて情報発信するとともに、チラシを全戸配布するなど周知に努めました。